

## 天文分野での教育・アウトリーチの成果発表の現状

Present status of publications of education and public outreach in astronomy

\*富田 晃彦<sup>1</sup>\*Akihiko Tomita<sup>1</sup>

1.和歌山大学教育学部

1.Faculty of Education, Wakayama University

天文分野での、教育（学校内、学校外）、アウトリーチや科学コミュニケーションの成果発表の現状を概観する。論文は、地学教育（日本地学教育学会）、天文教育（天文教育普及研究会）、日本サイエンスコミュニケーション協会誌などに散らばって発表されている。その相互参照性や公開性を高めようという動きがある。例えば縣秀彦らが天文教育普及研究会でワーキンググループを立ち上げている。国際天文学連合でも、同じように天文教育の論文のデータ集約の動きがある。また、教具を査読するastroEDUというサイトも立ち上がっている。教育・アウトリーチの実践者・研究者が査読しあうことで、成果発表の質があがると期待している。

キーワード：天文教育、成果発表、リポジトリ

Keywords: astronomoy education, publication, repository